

広報紙のありかたや情報発信 に関するアンケート集計結果

令和4年8月に行った市広報および情報発信に関するアンケートの結果を報告します。

端数処理の関係で、アンケートの合計数値が合わない場合があります。

概要

目的

- 市広報紙に関して、市民の皆さんの満足度や情報入手の手段を把握し、効率的で分かりやすい広報活動につなげるため

期間

- 令和4年8月1日(月)～8月15日(月)

方法

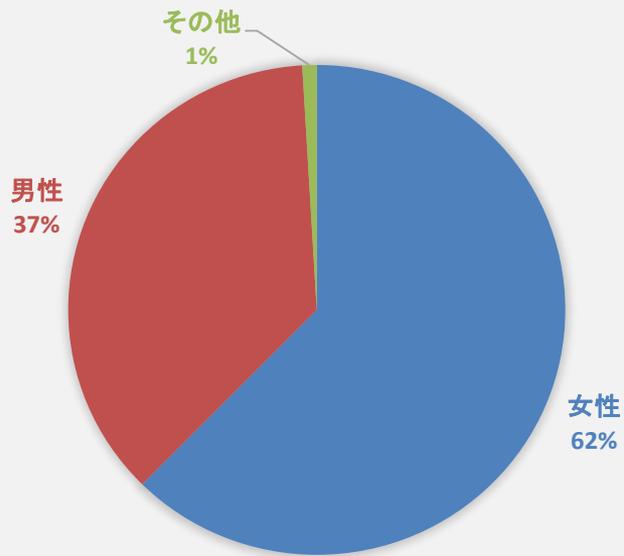
- WEBアンケート(市広報紙に二次元コード掲載、市公式ホームページ、市公式LINEでお知らせ)
- 用紙記入式アンケート(市役所1階、各総合支所、交流ひろば、ミライニに設置)

回答者数

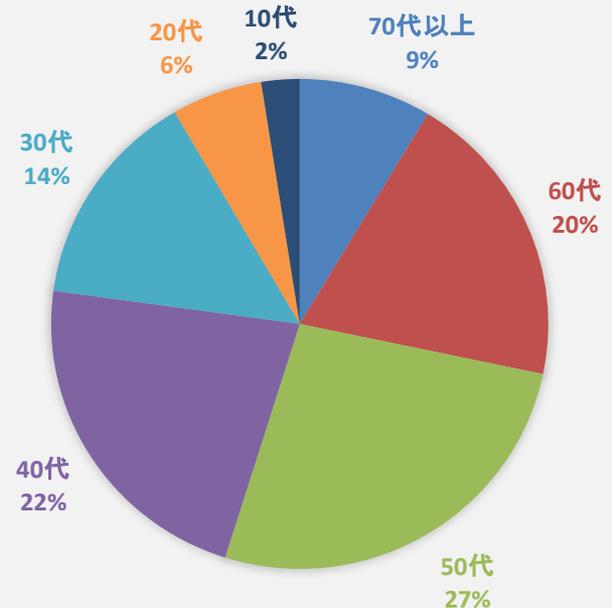
- 1,287人(WEB 1,266人、用紙 21人)

回答者の性別・年代

回答者の性別



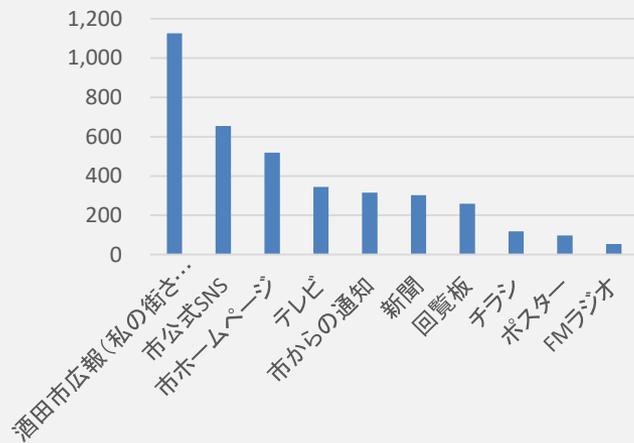
回答者の年代



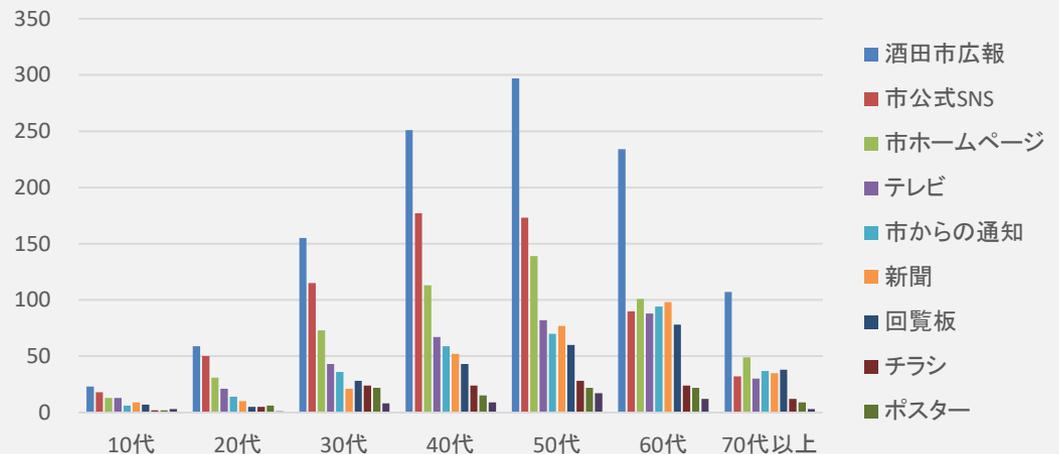
- 沢山の回答ありがとうございました
- 20歳代以下の若年層からの回答数が全体の10%以下と少ない結果となりました。若い世代の皆さんへ向けた魅力的な情報発信の検討を進めていきます。

Q1 酒田市や酒田市政の情報を何から得ていますか (複数回答可)

市の情報を何から得ているか

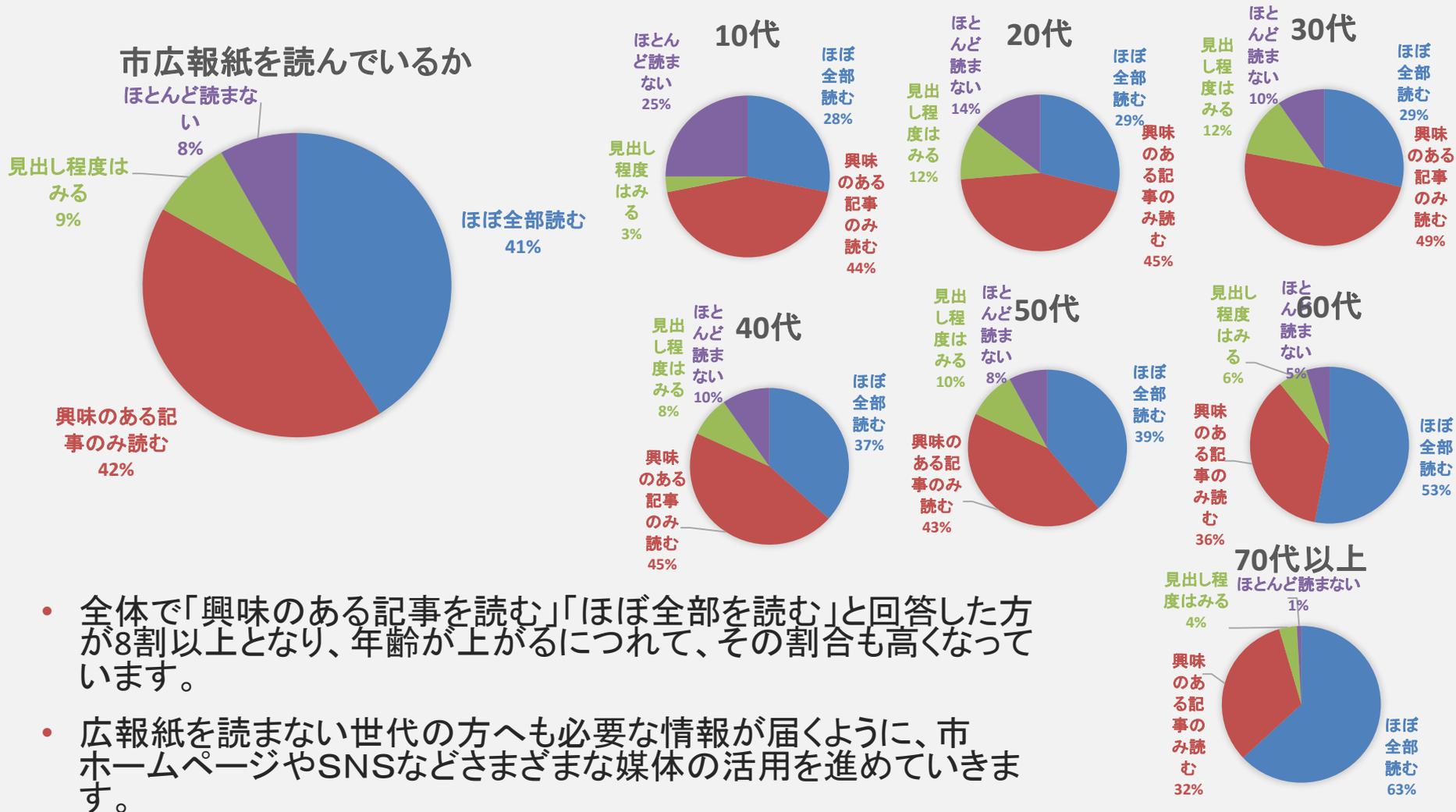


市の情報を何から得ているか(年代別)



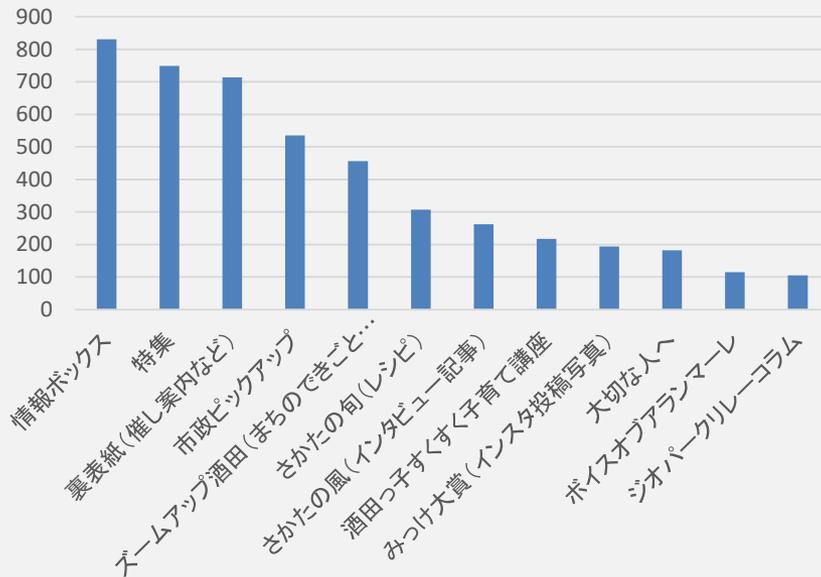
- 全ての年代において、市政情報を「広報紙」から取得している人の割合が最も多いという結果となりました。次いで60歳代、70歳代以上を除き「市公式SNS」、60歳代・70歳代は「市ホームページ」となっていました。
- ホームページなどのデジタル技術を利用し情報を取得している割合も多いことから、広報紙のみならず動画やSNSなどを組み合わせ、分かりやすい情報発信に努めていきます。

Q2 市広報紙を読んでいますか



Q3 市広報紙でよく読む記事は何ですか (複数回答可)

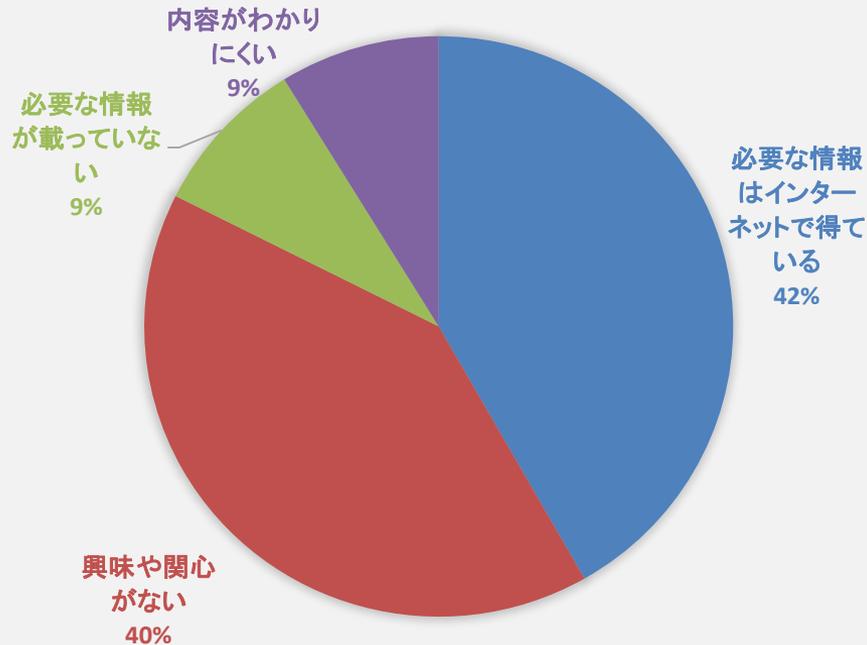
よく読むコーナー



- 市からのお知らせや催しなどが掲載されている「情報ボックス」、「裏表紙」、「市政ピックアップ」、市が皆さんに重点的にお知らせしたいものを取り上げる「特集」が多く読まれていることが分かりました。
- 一方で、各連載などは低く推移しています。
- 一番見ていただいている「情報ボックス」は、掲載内容も多いことから記事が埋もれやすいことが課題でした。対象の方の目に留まりやすいように、今まで「お知らせ」「募集」「催し」などに掲載していた中から「子ども」「健康・福祉・スポーツ」をカテゴリ分けしました。

Q4 ほとんど読まないと答えた方の理由

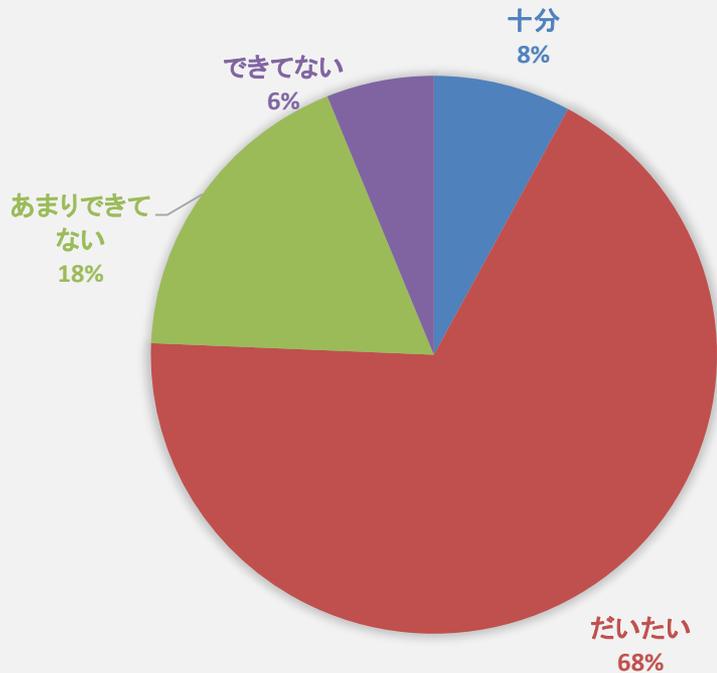
広報紙を読まない理由



- ほとんど読まないと答えた方の4割以上が、欲しい情報をインターネットで得ていると回答しています。
- 広報紙だけではなく、市ホームページやSNSでの情報発信の充実と分かりやすい表現の追求に努めます。

Q5 市広報紙で市政情報や知りたい情報を得ることができていますか

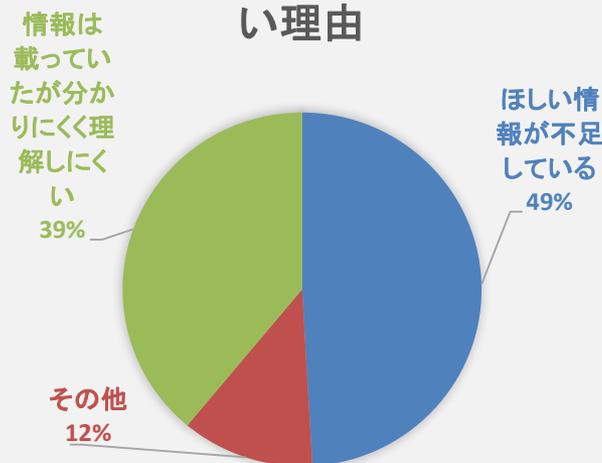
広報紙で知りたい情報を得ることができていますか



- 回答者の7割以上は、紙面で知りたい情報を得ることが「十分」または「だいたい」できていると回答しています。
- しかし2割以上の方が「あまりできてない」「できてない」と回答しています。次ページでその理由を聞いていきます。

Q6 知りたい情報を得ることが「できていない」「あまりできていない」理由

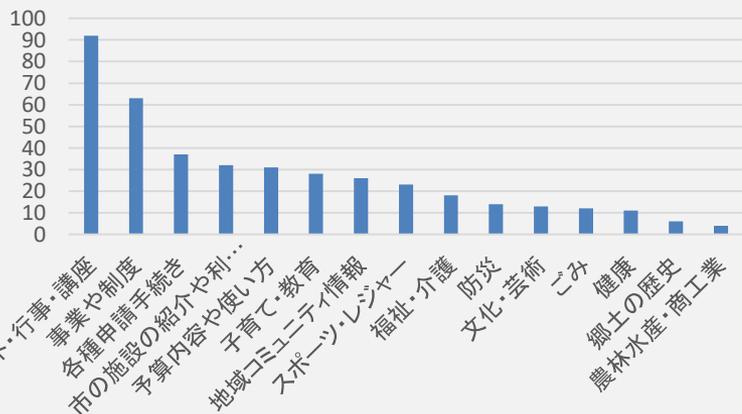
知りたい情報が取得できない理由



その他の意見

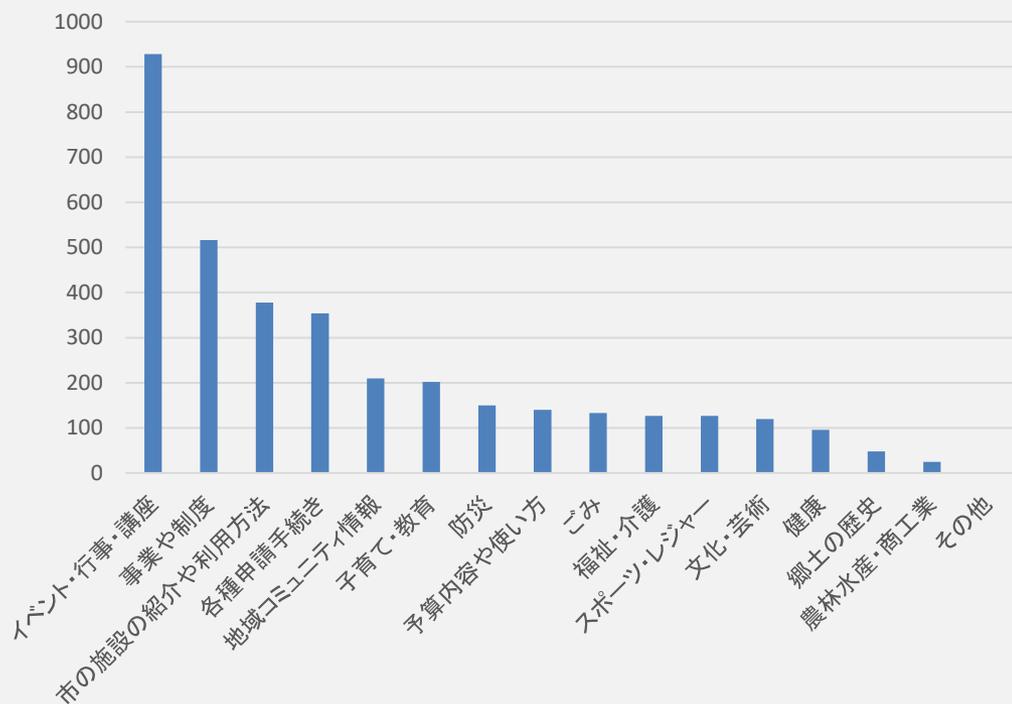
- 関心がない・読んでいない・必要時以外読む習慣がない
- まずは情報が欲しくなる街づくりを
- 紙面に魅力を感じない
- 自分に関係する記事が分からない
- 知りたい情報はホームページで見る
- 活字が多く内容が同じ。パッと見て読みたいと思うものが無い
- 文字が小さく読みにくい
- 必要最小限の情報にしていただきたい
- 広報だけでなく市の発信記事や内容が市民の目線に立っておらず官報用語でわかりづらい
- 作り手が100%市民目線に立っていると思えない
- もう少しわかりやすく記載する方法を模索してほしい
- 冊子の形として開きづらい

できていない「あまりできていない」方の知りたい情報



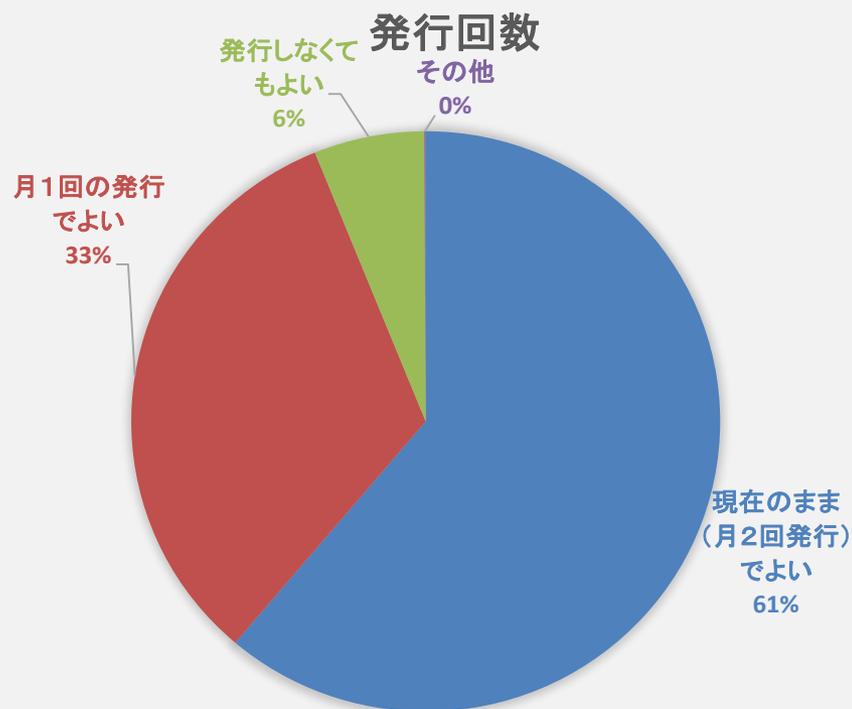
Q7 日ごろから知りたいと思っている市の情報は何ですか(3つまで)

日ごろから知りたい酒田市の情報

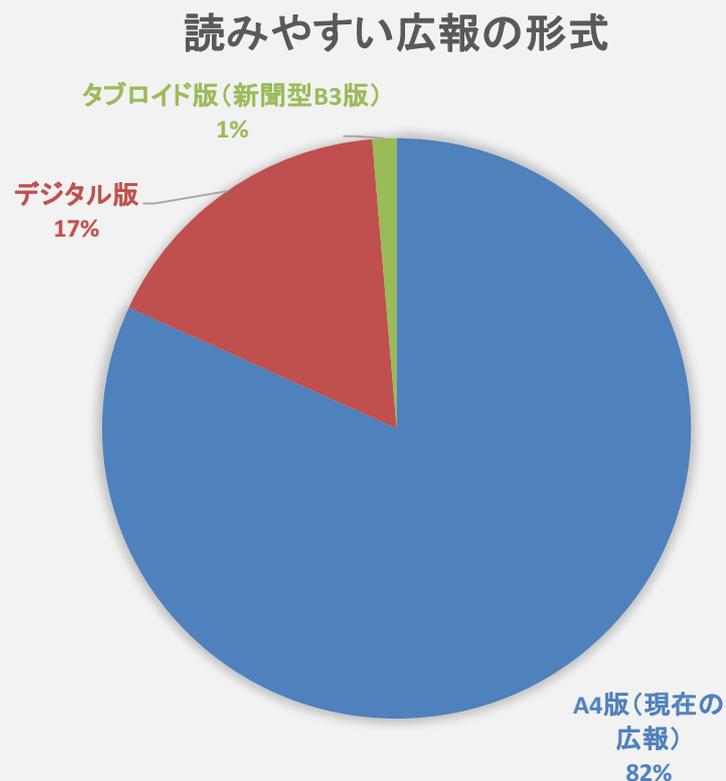


- 全ての年代で「イベント・行事・講座」に関する情報を知りたいと思っている人が最も多く、次いで「事業や制度」を知りたいと思っている人が多い結果となりました。
- 市政情報の満足度を向上するため、引き続き市民ニーズを的確に捉え、情報を発信していきます。また市の課題や施策の背景についても積極的に伝えることなど、市政に関心を持つきっかけとなるような取り組みを進めていきます。

Q8 発行回数はどのくらいが適当と考えますか

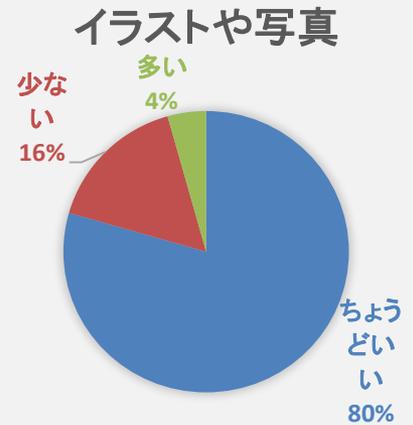
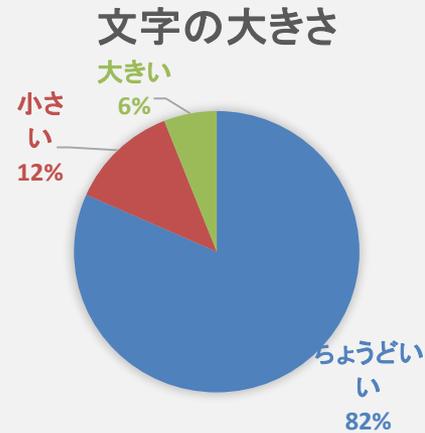
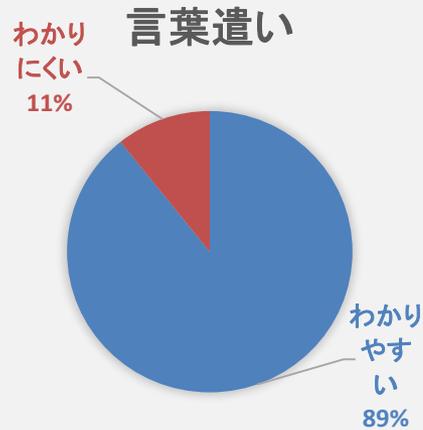
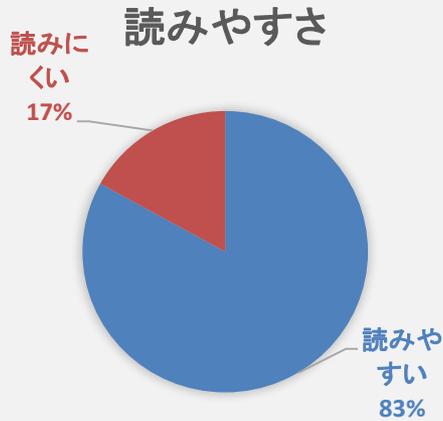


Q9 読みやすい広報の形式は何ですか



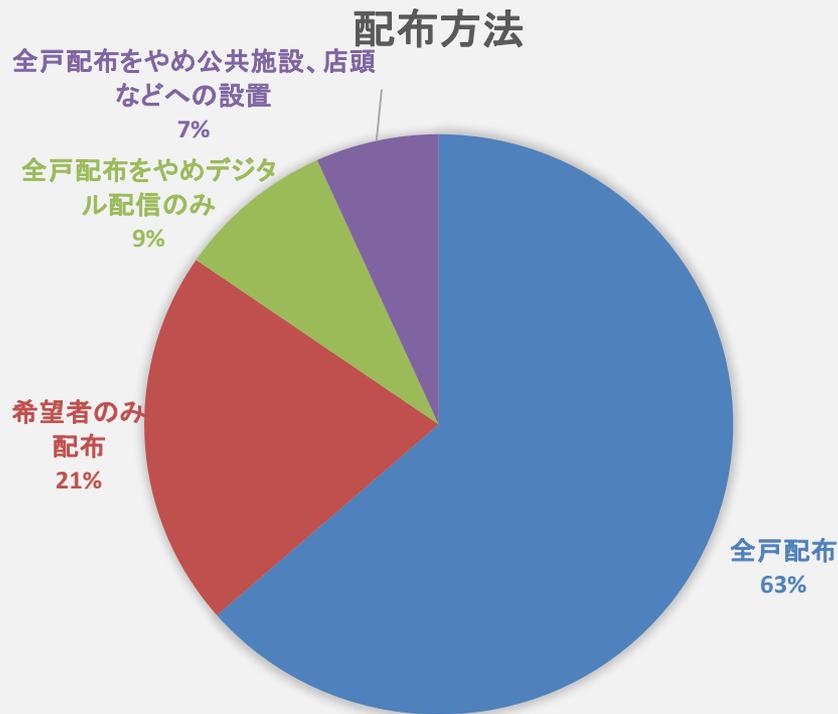
- 発行回数・広報の形式ともに、現状の形式を選んだ方が多い結果となりました。
- スマートフォンなどの普及により、インターネットなどでの情報取得がしやすくなった現在も、紙媒体での情報発信を求めている方が多くいることが分かりました。

Q10 現在の市広報紙についてお聞かせください



- 現状の紙面に肯定的な回答を多くいただいておりますが、今後も市民の皆さんに読みやすい・分かりやすいと感じていただけるよう、改善を図っていきます。

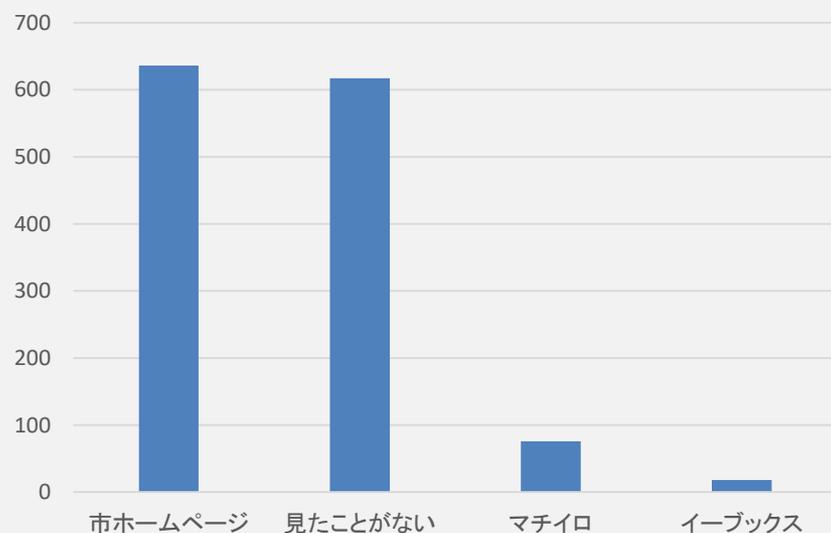
Q11 市広報紙配布はどのような方法が望ましいと思いますか



- 全戸配布を希望する方が6割以上となりました。
- 一方で「希望者のみ」「デジタル配信」「公共施設や店舗への配置」など、希望するとき・必要な時のみ広報紙の情報を得たいと考えている方も4割近くいることが分かりました。
- 市民の皆さんそれぞれが必要とする情報を、必要な時に得ることができるよう、広報紙だけではなく、インターネットやSNSなどを活用し、情報発信を強化します。

Q12 市広報紙デジタル配信で利用したことがあるものを教えてください(複数回答可)

見たことがあるデジタル媒体

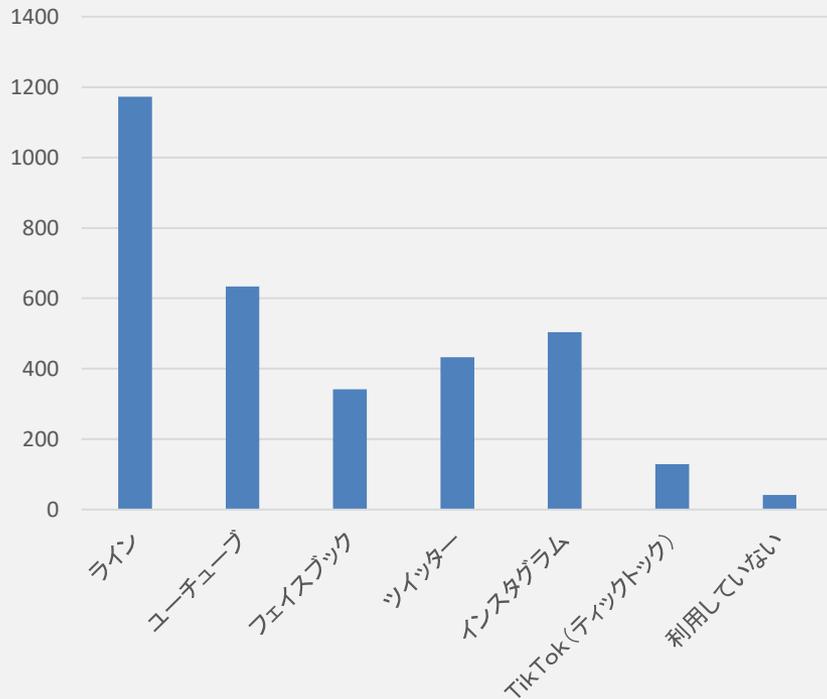


市ホームページは発行日にLINEでもお知らせしています

- 回答者の約半数が市ホームページを利用したことがあると回答しています。広報紙同様、市ホームページでも欲しい情報を見つけやすく・分かりやすく得ることができるように努めます。

Q13 普段利用しているSNSを教えてください (複数回答可)

普段使うSNS



- 全ての世代で「LINE」を普段使っている方の割合が最も多い結果となりました。
- LINE以外についても、それぞれの特性に応じた効果的な情報発信のあり方を整理し、取り組みを進めていきます。